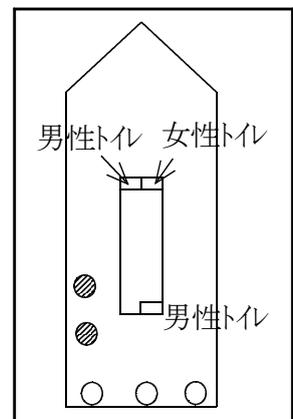


2019年5月18日(土) ムギイカ&マイカ マアジ5目 福丸(小浜新港) ツレと
 大潮:旧4月14日 満潮 13:06(23cm) 干潮 20:03(0cm) 満潮 翌日02:53(21cm) 小浜
 スルメイカ 自分: 3杯 ツレ: 4杯
 マアジ 38cmを頭に良型ぞろい 自分: 9尾 ツレ: 11尾
 ツレ: マダイ30cm1尾 自分: チャリコ2尾、ウマズラハギ1尾

13:50 現地着	23:00 納竿
14:20 受付・釣り座抽選	00:10 港着
14:30 出船	00:30 帰路につく
20:03 干潮 0cm (小浜)	

【ムギイカ仕掛け】

幹糸4号、枝間1.2m、上糸1.2m、	
上から ツレ用	自分用
魚形プラズノ(水色)	魚形プラズノ(水色)
ハイブリッド鈎(赤緑)	ハイブリッド鈎(赤緑)
プラズノ透明ピンク	プラズノ透明ピンク
浮きスツテ2.5号赤白	浮きスツテ2.5号赤緑
プラズノ透明	魚形プラズノ(透明)
水中ライト	
おもり 60号、80号、100号を持参 (今日は一日80号だった)	



【マアジ仕掛け】

ハヤブサ製 実践サビキ20 サバ皮レインボー(アジ・イサキ)
 幹糸6号 ハリス4号20cm 枝間42cm 上糸40cm 下糸40cm 全長2.9m
 オキアミ専用4号鈎 6本鈎

※HPにハリス4号とあった。良型マアジがかかることから、また、ハリスに太さがあった方が扱いやすいことから、4号がちょうど良かった。良型マアジが釣れたことからハリス20cmがよい。

※事前にフィッシング遊にて購入 ¥450(?)

お祭りになると元に戻すのが不可能であることから、4つ購入した。

かご: アミエビ用サブマリン小型 おもり: 今日は一日80号だった

【竿】

自分 YOIKA BB 7:3調子

穂先を自作のものと交換。胴調子であることと、PEラインとリーダーの結び目が通るようにガイドの穴が大きい。

ツレ ライトゲーム モデラート

7:3調子の竿である。アジ釣りでアジが途中でばれるということはない。

胴調子でないことから、イカ釣りでのこれまでの釣り方(ジジッと巻く釣り方)がうまくできないと言っていた。イカ釣りの時は、これまでの竿(3m胴調子)を使うことにしよう。

【料金】

- 船代 ¥11,000 (エサ氷付き) 福丸 090-3159-4181
- 日～金 ¥12,000 土曜日の深夜便・深夜便 ¥11,000
- 餌は、コマセ用アミエビ、つけ餌用オキアミだった。

【様子】

- 家から出発する時、風が強く吹いていたので、船長に電話で問い合わせたところ、南風だから、大丈夫との返事だった。予報は5m～6mだったが、一時期、もっと強く吹いた時間帯があったように思う。
- 若狭フィッシャーマンズワーフをナビに入れてスタートした。
- 昼食時、酔い止めを飲んだ。乗船の2時間前だった。酔わずにすんだ。
- どういうわけか、コンビニで夕食を買い忘れた。あわてて、近くにいた釣り客に近くのコンビニを尋ねたが、ないとのこと。港の近くに弁当という看板を見つけ、そこで購入した。
- 午後2時20分頃、港に戻った。すでに抽選は始まっていた。最後の残りくじで、4番だった。釣り座は船長の指定による。左舷、後ろから2番目3番目だった。2～3日前に予約を入れた。当日は満席だった。
- 午後2時30分集合とHPにあったが、2時30分には出船していた。

【マアジ5目】

- マアジ5目釣りからスタート。
- 最初のポイントに着くまでに、周りの人がオキアミを鉤につけていたので、我々もオキアミをつけた。
- アナウンス「水深〇m 底から5mまでを誘ってください。」水深65mくらいだったか。
- 自分がチャリコ、ツレがマダイを釣った。このポイントでツレはマアジ7尾釣った。自分はあまり釣れていない。
- 移動となった。次のポイントは先ほどより深い。同様のアナウンスがあった。
- 仕掛けが着底してコマセを撒いたが当たらない。「底から5mまで」というアナウンスを思い出した。底から3mでコマセを撒いた。これが良かった。すぐに当たりがあった。マアジが掛かった。
- その後、“底から3m”でずっと釣れていた。
- サビキ仕掛けなので、マアジなら付け餌なしで釣れる。オキアミをつけている時間が無駄である。マアジが釣れなくなったら、オキアミをつけることにした。これで良かった。
- 入れ掛かりとまではいかないが、退屈しない程度に釣れてくる。
- 途中、良型3尾を船に取り込む直前でばらしてしまった。タモを使うべきだった。タモは2人に1本の割合で置いてある。
- 良型は引きが強い。マアジの場合、引きが強い時には、抜き上げずにタモですくうことである。

○アジが乗ったときの回収スピードは15で行った。これでちょうどよいと感じた。

【イカねらい】

○イカ釣りのため移動となった。午後7時頃からイカ釣りとなった。

○「昨日は30～50mでよく当たった。30～60m 広範囲で探ってください。」とアナウンス

○まだ、明るかったので、底から誘い上げようと考えた。底まで落とすときも、フォールで誘うことにした。

○フォールで誘う。「2mを2回に分けて落とし待つ。待つ時間は当たりを確認する程度。カウントにして5～8。」

○50mで仕掛けが落ちるのが止まった。しかし、掛からなかった。そのまま落とした。60mで仕掛けが止まった。スルメイカが釣れた。

○HPには、上の方でムギイカが、底の方でマイカが釣れるとあったので、30mまでは60mはムギイカの釣り方で、(水深は90mだったか…)、70mから底まではマイカの釣り方でやった。

○しかし、さっぱりダメ。右隣の釣り客も2杯から数が伸びない。周りも釣れている様子がない。

○午後10時頃、ツレが休憩するというので、二刀流となった。

○自分の竿は、自動しゃくり(ダイワ シーボーグ300J おもり80号)「2mを2回に分けて巻き上がり止まる。止まっている時間はカウント10くらい」

○ツレの竿で落とし込んでいたら、自分の竿に当たりがあった。ツレの仕掛けを止めて、自分の竿の方に行った。

○巻き上げてみたが、いなかった。離してしまったようだ。もう一度40mから落とし込みをした。65mくらいで当たりがあった。乗っていなかった。

○再度、40mから落とし込みをした。65mで当たりがあった。スルメイカを釣った。

○すると、ツレの置き竿に当たりがあった。上から30mの所だった。スルメイカだった。

○午後11時に納竿となった。最初に1杯、終了少し前に2杯の3杯で終わった。

【釣り方 まとめ】 電動リール ダイワ シーボーグ300J おもり80号

<巻き上げ>

○定速巻き上げ スピード5～7

マイカねらいはスピード5、ムギイカねらいはスピード7を想定した。

マイカの定速巻きはゆっくり巻き上げることが必要である。スピード4だと、リールにトルクがないため、船の上下で巻きが止まるときがある。スピード5が最低のスピードとなる。

→ スピード7で当たりがあったが、釣れなかった。

○自動しゃくり

「2mを2回に分けて巻き上がり止まる。止まっている時間はカウント10くらい」

マイカねらいはスピード5、ムギイカねらいはスピード7～10を想定した。

→ 当たりがあったが、釣れなかった。ムギイカねらいのスピードだった。

○定速巻き上げとしゃくり

ムギイカ用 スピード7～10 1.5m～2m巻き上がったら、しゃくって待つ。

待ち時間は1.5m～2mが巻き上がってくるまでの時間となる。

→ 当たりなし

マイカ用 スピード5 （カウント8で1m巻き上がるスピード）

1m巻き上がったら、しゃくる。

待ち時間は1mが巻き上がってくるまでの時間であり、カウント8である。

→ 当たりなし

<落とし込み>

○ムギイカ用

「2mを2回に分けて落とし待つ。待つ時間は当たりを確認する程度。カウントにして5～8。」
短い時間に広範囲に探れるという利点がある。

→ 2杯ゲット

○マイカ用

「1mを2～3回に分けて落とし待つ。待つ時間カウントにして3～5。」

→ 当たりなし

<置き竿>

止めたまま放置する。

→ 1杯ゲット

※これまでの釣り方で釣果が出た方法を再現してみた。今回、「当たりなし」であっても釣り方がよくないとは考えにくい。イカがいなかったからである。これなら釣れるという釣り方を見極めた
い。